


アプリコ
ニューイヤーコンサート
2018

真のウイーン・ブルックナー・ワルツに酔いしれる

2018 **1/14** 14:00開演 (13:15開場)

大田区民ホール・アプリコ 大ホール 

(JR・東急線「蒲田駅」東口から徒歩約3分 / 京浜急行線「京急蒲田駅」西口から徒歩約7分)

料金【全席指定】 一般 4,500円 オンライン価格 4,270円 U25シート 2,000円

●未就学児の入場はご遠慮願います。
※U25シート…25歳以下の方が対象で公演当日残席がある場合に限り販売します。年齢が確認できるものをご提示ください。

チケット
発売日 2017年9月13日(水) 10:00発売開始
☆注意☆ 発売初日の窓口販売は、15:00以降からとなります

チケット
専用電話 Tel 03-3750-1555
発売初日15:00以降は電話予約(下記3館)・窓口販売いたします(10:00~20:00)
◆アプリコ Tel 03-5744-1600 ◆大田区民プラザ Tel 03-3750-1611
◆大田文化の森 Tel 03-3772-0700

オンライン
チケット On Line <http://www.ota-bunka.or.jp/>
※発売日から各公演前日20:00まで座席をご予約いただけます(24時間対応)

◆チケットぴあ <http://t.pia.jp/> 0570-02-9999 (Pコード: 337-941)

主催:公益財団法人大田区文化振興協会



出演



ヴァニシウス・カター
【指揮】



シモーナ・アイジンガー
【ソプラノ】



フィリップ・シュピーゲル
【バリトン】

ウィーン・シェーンブルン宮殿
オーケストラ 【管弦楽】

ウィーン・シェーンブルン宮殿
オーケストラ



Program

ヨハン・シュトラウス2世:

喜歌劇「こうもり」より 序曲

ヨハン・シュトラウス2世:

ワルツ「芸術家の生活」Op.316

ヨハン・シュトラウス2世:

喜歌劇「ウィーン気質」第1幕より アリア「懐かしき愛の巣よ」☆

フランツ・レハール:

喜歌劇「メリー・ウィドウ」第2幕より アリア「マキシムへ行こう」★

ヨハン・シュトラウス2世:

ワルツ「南国のバラ」Op.388

ヨハン・シュトラウス2世:

ポルカシュネル「トリッチ・トラッチ・ポルカ」Op.214

フランツ・レハール:

喜歌劇「メリー・ウィドウ」第3幕より 二重唱「唇は語らずとも」☆☆

ヴィクター・ハーバート:

Royal Sec シャンパン・ギャロップ

ヨハン・シュトラウス2世:

皇帝円舞曲 Op.437

エメリッヒ・カールマン:

喜歌劇「チャールダーシュの女王」第1幕より

アリア「ハイヤ、ハイヤ、山こそわが心の故郷」☆

フランツ・レハール:

喜歌劇「メリー・ウィドウ」第3幕より

アリア「そう、女を理解するのは難しい」★

ヨハン・シュトラウス2世:

新ピチカート・ポルカ Op.449

ルロイ・アンダーソン:

タイプライター

ヨハン・シュトラウス2世:

喜歌劇「ウィーン気質」第2幕より 二重唱「ウィーン気質」☆☆

ヨハン・シュトラウス2世:

美しく青きドナウ Op.314

☆ソプラノ: シモーナ・アイジンガー ★バリトン: フィリップ・シュビーゲル

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Profile



ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ (管弦楽)

1997年に創設されたウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラは、華麗なるウィーンの宮廷文化を音楽という形で今日に伝えることで、国際的に高く評価されている。心地良いハーモニーで作品の真髄を表現するのみならず、さまざまな演出で聴衆を笑顔にする、いわばウィーン音楽の伝道師ともいえる存在である。シェーンブルン宮殿で定期的に演奏会を行っているほか、これまで、イタリア、ドイツなどヨーロッパをはじめ、日本、ロシア、ブラジルなどでも、多くのファンを魅了し続けている。ハイドン、モーツァルト、シューベルト、シュトラウス一家などの作品をおもなレパートリーとし、ウィーンならではの音楽性の高さを披露するとともに、絶妙な独自のタッチで「ウィーンの薫り」を会場中にふりまく。オペラ歌手やバレエダンサーとの共演など、幅広く活躍する、次世代のウィーンを担うオーケストラである。



ヴィニシウス・カタール (指揮)

1986年ブラジル生まれの若き指揮者ヴィニシウス・カタールは、2011年ブルドナウ国際オペラ指揮者コンクール1位、及び2016年ルイジ・マンチネリ国際オペラ指揮者コンクール3位の受賞者である。オーストリアのウィーンを本拠地に、カタールはこの7年間でウィーン国立歌劇場、楽友協会、コンツェルトハウス、ホーフブルク宮殿、シェーンブルン宮殿等で指揮している。現在は、ヨハン・シュトラウス・ヴィルトゥオーゼン管弦楽団、及びメトロポリタン室内管弦楽団の首席指揮者。著名なドイツ人指揮者、ヘルムート・リリングにドイツとアメリカで学ぶ奨学金を受ける機会を得て、カタールは若くして指揮を始めた。学業を終えると、カタールはオペラの世界に身を投じる。ケルン歌劇場でコレベティールと指揮者助手、スロヴァキア国立オペラで客員指揮者を経験し、現在はプロヴディフ・オペラ、ブルガス・オペラ、ドニプロペトロウシク・オペラを含むヨーロッパの歌劇場で客員指揮者として仕事をしている。また、オペラ団「オー!ペラ」の創立者で音楽監督でもある。2013年には、ランゲンロイス音楽祭にてフィリップ・アーノンクール演出のオペレッタ「ウィーン気質」を指揮している。カタールの音楽的才能は現代音楽の世界でも発揮されており、ウィーン・モダン・フェスティバルにおけるディルク・ダーゼの「アズラエル」、2015年ムジークテアターターゲ・ウィーンにおける「disPlace」など、多数の現代オペラの初演を指揮している。また、ノイエ・オーバー・ウィーンでは指揮者助手とコレベティールを務めた。カタールの専門はW.A.モーツァルトの音楽である。2015年、カタールはプロジェクト「トゥツァー・モーツァルト」を立ち上げた。このプロジェクトは、今後10年間に渡り、モーツァルトのすべての曲の古楽器による演奏を、年代順にYouTubeで紹介するというものである。ヴィニシウス・カタールは、2012年よりウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラの首席客員指揮者を務めている。



シモーナ・アイジンガー (ソプラノ)

ウィーン・コンセルヴァトリウム私立音楽大学で声楽を学び、修士号を取得。2007年にバーデン州立劇場でデビュー以降、ウィーン・フォルクスオペラ、アン・デア・ウィーン劇場他に出演。オペラのほかに、コンサートやオラトリオのソリストとしても熱心に活動している。



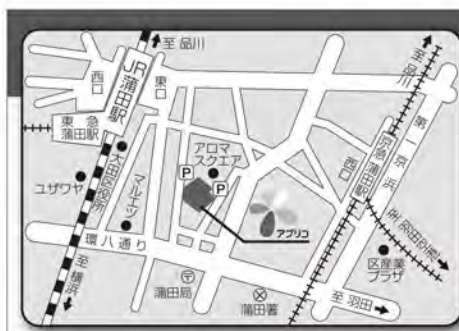
フィリップ・シュビーゲル (バリトン)

ウィーンの音楽舞台芸術大学で学び、ドイツ連邦歌唱コンクールをはじめ、多くのコンクールで入賞を果たした。ザルツブルグ音楽祭、ヴェルビエ音楽祭などにゲスト出演。コンサートやリート歌手としても活躍している。2009年より定期的にシェーンブルン宮殿オーケストラと共演している。

音楽の都《ウィーン》から、本場の麗しき宮廷音楽の薫り漂う管弦楽が、ついに、アプリコ初登場!

これがまさしく、本物のウィンナワルツ!ポルカ!!ギャロップ!!!

ウィーンの薫りに包まれるプレミアムな新年の幕開けは、アプリコで決まり!!



大田区民ホール アプリコ

〒144-0052
東京都大田区蒲田5-37-3
TEL:03-5744-1600
FAX:03-5744-1599
http://www.ota-bunka.or.jp/aprico

JR京浜東北線、東急多摩川線・池上線
「蒲田駅」東口から徒歩約3分
京浜急行線「京急蒲田駅」西口から
徒歩約7分
駐車場:区営アロマ地下駐車場15分/100円

オンラインチケットについて

オンラインチケットサービスがもっと便利に、ぐっとおトクに!

オンライン割引サービス オンラインでのご予約(クレジット決済・コンビニ支払)は、一律チケット価格の5%相当割引で購入可能

オンラインチケットレスサービス(スマホ受取/手数料108円@1枚)
スマートフォンにダウンロードした電子チケットで、そのままご入場いただけます

チケットレスお試しキャンペーン(期間:9月13日~11月30日)

上記期間までにオンラインにてチケットレスサービスをお選びいただきました方は、
手数料(108円/1枚)が無料となります。

※チケットレスサービスの詳細は、協会ホームページをご覧ください。